

第 105 回理事会議事録

1. 日 時：2025 年 8 月 22 日（金）18 時 30 分～19 時 50 分
2. 議決方法：オンライン会議システム Zoom を使用した
3. 議事参加者：【理事 12 名】 鳩山勝郎、浅越琴美、荒川聡一、緒方敏広、垣内寅彦（ロバート・ゲラー）、齋藤陽子、山後秀幸、橋本公二、波多江隆児、柳澤彰子、山田和彦、吉田正
【監事 2 名】 関口修 正村祐一
【事務局 2 名】 高野英樹事務局長、仲村篤志競技会事業部長
(理事現在数：13 名、定足数 7 名、本人出席 12 名)
4. 議事の経過及び結果
鳩山会長を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 104 回議事録の案の承認について

議事録案を承認した。

議事録案の検討にあたり、山田理事より新横浜第一生命ビルディングと JCBL が JCBL の入居に際して締結する契約書について、将来の新横浜第一生命ビルディング退去時の原状回復工事の負担範囲およびアスベストの調査、除去の負担者に関して賃借人である JCBL にとって経済的に非常に不利な条項が含まれていると思われ、契約書のそれらの条項について新横浜第一生命ビルディングと交渉を行い、法律に則った契約書の修正を求めていくべきではないかとの指摘があった。

それに対して鳩山会長より、将来のビル退去時の費用負担が大きくなるリスクは否定しないが、契約書について新横浜第一生命ビルディングに交渉を申し込めば入居そのものが危うくなる可能性も高いと考えられ、他の候補のビルは新横浜第一生命ビルより条件面が劣ること、これまで JCBL の打診に対して移転候補のビルからの返答が長期化したケースが目立ち新たなビルの検討は時間的に厳しいこと、契約書を交渉して相手の譲歩を引き出せる見通しは不確実なことから、契約書に応じて契約を締結することとしたいとの説明があり、了承された。

第 2 号議案 就業規則の改定について

荒川法人管理部担当理事より、就業規則の改定案について以下の説明があった。

2025 年 4 月に育児・介護休業法が改正され、子の看護休暇が改正、拡大された。それに伴い就業規則の変更を行うものである。

検討の結果、これを承認した。

第3号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

吉田企画委員長より 6 月 11 日に行われた企画委員会について報告があった。

2. 代表選抜委員会

橋本代表選抜委員長より 8 月にデンマークで開催される世界選手権のミクスト代表およびシニア代表のメンバーについて以下の提案があり、検討の結果これを承認した。

ミクスト代表

島村京子、高山雅陽、阪口みどり、加来浩、柳澤彰子、陳大偉

NPC 原澤沙依

シニア代表

井野正行、平田眞、今倉正史、山田和彦、ロバート・ゲラー、大政哲人

橋本代表選抜委員長より、世界選手権に出場を予定しているミックスおよびシニア代表の両チームより、世界選手権の代表助成の増額を求める要望書が出された旨報告があった。要望書では、現規定では航空券代およびツインホテル代の 1 人分のそれぞれ半分がミックスおよびシニア代表に助成されるところを、オープンおよびウィメン代表と同様に航空券代およびツインホテル代の 1 人分のそれぞれ全額を助成し助成額を倍増することが求められた。

要望書を受けてミックスおよびシニア代表の世界選手権の助成額を増額するか否かについて検討を行ったところ意見が分かれ、ミックスおよびシニア代表のメンバーの理事合計 3 名を除いた残りの理事で採決を行ったところ、森村、緒方、荒川、浅越、波多江の 5 名が増額に賛成、吉田、齋藤、橋本、山後の 4 名が増額に反対した。その結果をもとに鳩山会長が、現規定のミックスおよびシニア代表の助成額を 50、オープンおよびウィメン代表の助成額を 100 とした場合、世界選手権のミクストおよびシニア代表の助成額を 66 もしくは 75 のどちらかに増額することとし、その判断を代表選抜委員会および事務局に委ねる提案を行った。検討の結果、了承された。

3. 競技委員会

山後競技委員長より 6 月 4 日に開催された第 293 回競技委員会について報告があった。

4. 普及事業部

柳澤普及事業担当理事より 6 月 9 日に開催された普及委員会について以下の報告があった。

センターの普及活動の取り組みの活性化を図るための事務局案が報告された。普及委員会の検討を促進するため、普及委員会内にグループを設置して並行して検討し普及委員会に進捗状況を報告していくこととした。

5. 競技会事業部

山田競技会事業担当理事より競技会事業部活動状況および資格取得者の報告があった。

6. 国際交流事業部

吉田国際交流担当理事より7月にイタリアで開催される世界ユース選手権の代表メンバーが報告された。検討の結果、これを了承した。

U26 代表

宋逸寒、柳下晃太郎、稲見輝志、滝澤憲、野口広樹

U21 代表

松田成海、肖宇祺、土屋拓輝、増野優太、浅野陽哉

U26 ガールズ代表

稲村優佳、山崎那菜、吉田桃香、佐々木郁奈、廣野真凜

7. 法人・管理部

荒川法人・管理担当理事より5月末時点の比較財務諸表、月次収支実績、クラブ勘定残高について以下の報告があった。

2025年度5月末時点の収支状況は概ね想定通りである。2025年度決算は1,000万円程度の赤字を予想している。クラブ勘定の残高については問題がない。

第4号議案 その他の議案

1. 次回理事会開催について

次回理事会は2025年8月22日（金）18時30分よりオンラインにより開催する。

本日のWEB会議システムを用いた理事会は、即時・双方向性が満たされており、終始異常なく議題の審議を終了した。

2025年8月22日

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第105回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

吉田 正

監 事 関口 修

正村祐一

議事録作成者 荒川聡一